

# RYOYO 第2回 熊野古道道普請(2023)

菱洋エレクトロは、和歌山県が主催する世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全と活用を図る「10万人の参詣道環境保全活動」の趣旨に賛同し、2019年から「熊野古道道普請ウォーク」に参加しました。一時、コロナ禍で参加を見合わせていましたが、2023年から活動を再開しました。11月9日(木)～10日(金)の2日間、新入社員と一般社員の総勢31名がこの保全活動に参加しました。当初は初日に道普請を行い二日目に7kmをウォーキングの予定でしたが、降雨(予報)のため、初日に世界遺産センター研修後、熊野古道中辺路三軒茶屋跡周辺で補修土1tを用いて道普請を行ない、道普請場所から熊野本宮大社・大斎原まで約2kmをウォーキングしました。二日目は雨天のオプションとして大辺路を辿り、那智山、橋杭岩など熊野の史跡と自然に触れました。

## 1. 道普請の記録



世界遺産センターでの研修



道普請の場所(三軒茶屋跡付近)



道普請



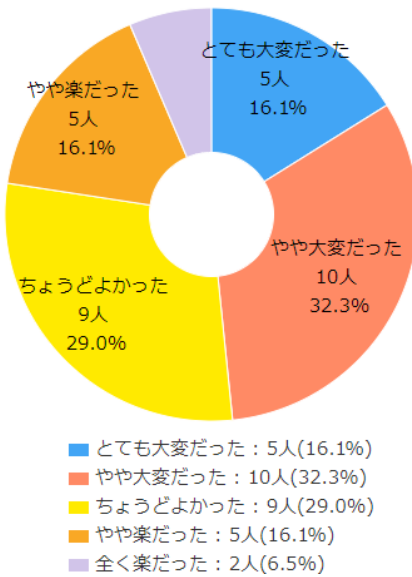




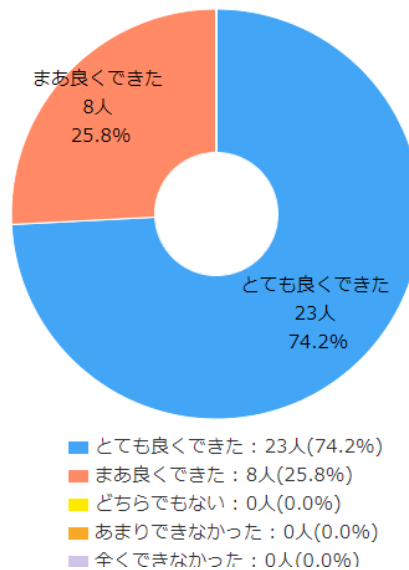


## 2. 参加者アンケートの結果

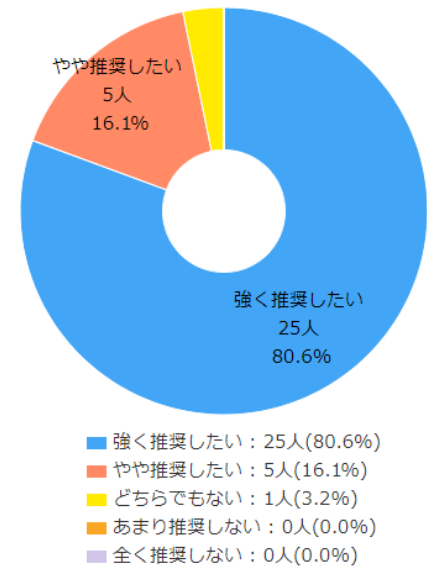
### Q1 道普請の難易度



### Q2 チームビルディング



### Q3 他者への推奨



普請作業の難易度は参加者の年齢・性別・体力の違いにより感じ方は様々ですが、参加者の満足度(他者への推奨)が高く、チームビルディングに最適なプログラムです。

## 3. 参加者の感想 (抜粋)

・寄付や募金をしたりするという間接的な支援ではなく、自分で汗をかきながら実際に現地でボランティア活動をするという機会はなかなかなかったのでとてもいい経験になりました。整備した後の道を実際に自分で歩いてみて、歩きやすさや見た目が全く違ったので、ボランティア活動の大切さを身にしみて感じました。(20代 女性)

・今回のプログラムのように自らが動いて保全活動を行ったり、守るべき世界遺産を肌で感じ取ることで、今行っている活動の意義と社会貢献に取り組む大切さを改めて実感できました。(20代 男性)

・道にはそれを造った誰かがいるということ、道があるから進むことができるということ、改めて意識し感謝するようになりました。これは菱洋社員として、あらゆるモノづくりに携わるお客様に貢献していくうえで持っておきたいリスペクトだと思いました。(20代 女性)

・新入社員や普段接する機会の少ない別部署のメンバーと協力して達成感を味わったことで、今後一緒に働くために必要な結束が強まり、協力することの重要性を再確認しました。(40代 男性)

・企業として、地域社会への貢献だけでなく、菱洋エレクトロのチームビルディングにも有効な活動であると思います。(60代 男性)

・道普請で他の登山客とすれ違い際に「こんにちは」と挨拶しますが、時々「ありがとう」と声を掛けていただくと嬉しい気持ちになりました。また、社員とすれ違う度には、「お疲れ様です」「あと少し頑張り」と声を掛け合うことで、普段接したことのない社員との一体感を感じることが出来ました。社会貢献だけでなく、社員同士に一体感が生まれる大変素晴らしいプログラムであったと確信いたします。(50代 男性)

#### 4. その他

- ・和歌山県 世界遺産を守る 10万人の参詣道「環境保全」活動の詳細はこちら  
リンク先 <http://www.sekaiisan-wakayama.jp/protect/fifth.html>
- ・和歌山県政ニュース 2023/11/06『菱洋エレクトロ株式会社』が道普請を実施します！！  
リンク先 [http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/file/39500\\_0.pdf](http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/file/39500_0.pdf)
- ・菱洋エレクトロ株式会社 お問い合わせ：[ryoyo\\_csr@ryoyo.co.jp](mailto:ryoyo_csr@ryoyo.co.jp)